

第 31 回 全日本社会人馬術選手権大会 ドレスサージュ 実施要綱

1. 開催日及び開催地

全日本社会人馬術選手権大会 スプリング ドレスサージュ

開催日：平成 24 年 6 月 9 日(土) 10:00 集合

開催地：馬術苑 中島トニアシュタール

茨城県東茨城郡茨城町大戸 738 TEL 029-292-6753

全日本社会人馬術選手権大会 オータム ドレスサージュ

開催日：平成 24 年 11 月 10 日(土) 10:00 集合

開催地：(財) 山梨県馬事振興センター 山梨県馬術競技場

山梨県北杜市小淵沢町 10060-3 TEL 0551-36-3945

全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル ドレスサージュ

開催日：平成 25 年 3 月 9 日(土)~10 日(日)(予定)

開催地：JRA 馬事公苑 (予定)

東京都世田谷区上用賀 2-1-1 TEL 03-3429-5101

2. 出場資格

- (1) 日本社会人団体馬術連盟の会員団体及び準会員団体に所属する者
ただし、準会員団体は団体参加の資格はない。
- (2) 日本社会人団体連盟馬術技能資格 A 及び B、B' の当該年度資格登録者

3. 全日本社会人馬術選手権大会 スプリング・オータムについて

- (1) 競技種目
日本馬術連盟制定 馬場馬術競技第 3 課目 2009B
- (2) 乗馬
日本社会人団体馬術連盟が用意する抽選馬による。
使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合、競技前・途中の如何を問わず、予備馬による再演技を行なう。
- (3) 競技方法
競技規定は、国際馬術連盟馬場馬術競技会規程第 24 版及び日本馬術連盟競技会関連規程第 24 版を採用する。
選手を 1 ブロック 3~4 名からなるブロックに分け各ブロック毎に与えられた馬 2 頭に騎乗し、その 2 鞍の得点合計により順位を決定する。ブロックの数はエントリーの数により変動し、最大 8 ブロックとする。
スプリング及びオータムの各大会の表彰はブロックに関係なく総合順位で表彰する。
- (4) 順位の決定の細目と団体ポイント
 - (ア) 団体の順位

ブロックに関係なく得点上位の選手から下表のとおりポイントを与え、スプリング及びオータムを通しての各団体上位 2 名のポイント合計を団体ポイントとし、順位を決定する。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ポイント	30	25	23	21	19	17	15	13	12	11

順位	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
ポイント	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

- ① 団体の合計ポイントが同点の場合は、上位の 1 名のポイントが高い方を上位とする。
- ② ①で決まらない場合は抽選とする。
- ③ 選手権大会に出場できる選手は、該当団体のポイント上位 3 名までとする。

(イ) 個人の順位決定 (ブロックごと及び全体で決定)

- ① 総得点が同じ場合は全審査員の総合観察得点合計の高い者を上位とする。
- ② ①で決まらない場合は審査員 C の総合観察得点合計の高い者を上位とする。
- ③ ②で決まらない場合は 1 鞍の最も高い得点の者を上位とする。
- ④ ③で決まらない場合は抽選とする。

(5) 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル 出場権

(ア) 個人

各ブロックの上位 1 名が全日本社会人馬術選手権大会 ファイナルへの出場権を得る。ブロック数が 8 ブロックに満たない場合、総合順位の上位の選手から順に出場権を割り当て、スプリング・オータム共に 8 名の選手が出場権を得るものとする。ブロック 1 位の選手が欠場となった場合、同一ブロック 2 位の選手を繰り上げる。同一ブロック 2 位の選手も欠場の場合、それ以上の繰上げは行わず、総合順位の上位者を充てることとする。

(イ) 団体

団体ポイントの上位 6 団体が全日本社会人馬術選手権大会 ファイナルへの出場団体となる(補欠団体は採らない)。

4. 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナルについて

(1) 出場団体数・人数および資格

団体 6 団体

- 獲得ポイント上位 6 団体 各 2~3 名 ただし個人出場者との重複あり

個人 16 名

- スプリング及びオータム各ブロック上位選手 計 16 名

(2) 競技種目

予選：日本馬術連盟制定 馬場馬術競技第 3 課目 2009B

決勝：日本馬術連盟制定 馬場馬術競技第 3 課目 2009A

(3) 馬匹

日本社会人団体馬術連盟が用意する貸与馬。

(4) その他

詳細については別途通知する。

5. その他

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。また何らかの傷害保険に加入していること。
- (2) **出場選手の技術の向上、事故防止に心がけること。**危険防止の観点から、主催者及び審判団の協議に基づき改善を指導する場合がある。
- (3) 拍車は、丸又は棒拍とし、審判長の指示により着用を認めない場合がある。
- (4) 出場者数及び馬匹その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合がある(競技の詳細などについては、当日の打合わせにおいて説明する)。

第 31 回 全日本社会人馬術選手権大会 ジャンピング 実施要綱

1. 開催日及び開催地

全日本社会人馬術選手権大会 スプリング ジャンピング

開催日：平成 24 年 6 月 10 日(日) 10:00 集合

開催地：馬術苑 中島トニアシュタール

茨城県東茨城郡茨城町大戸 738 TEL 029-292-6753

全日本社会人馬術選手権大会 オータム ジャンピング

開催日：平成 24 年 11 月 11 日(日) 10:00 集合

開催地：(財) 山梨県馬事振興センター 山梨県馬術競技場

山梨県北杜市小淵沢町 10060-3 TEL 0551-36-3945

全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル ジャンピング

開催日：平成 25 年 3 月 9 日(土)~10 日(日)(予定)

開催地：JRA 馬事公苑 (予定)

東京都世田谷区上用賀 2-1-1 TEL 03-3429-5101

2. 出場資格

- (1) 日本社会人団体馬術連盟の会員団体及び準会員団体に所属する者
- (2) 日本社会人団体連盟馬術技能資格 A 及び B の当該年度資格登録者

3. 全日本社会人馬術選手権大会 スプリング・オータムについて

(1) 競技種目

障害飛越競技高さ (100cm まで)

(2) 乗馬

日本社会人団体馬術連盟が用意する貸与馬による。

(3) 競技方法

競技規定は、国際馬術連盟障害飛越競技会規程第 24 版及び日本馬術連盟競技会関連規程平成 24 年度版(失権者の減点算出法、障害飛越競技に関する周知事項)を採用する。

2 反抗失権とし基準タイムおよび早着減点の設定など一部ローカルルールを採用する。

使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合、競技前・途中の如何を問わず、予備馬による再演技を行なう。

(4) 成績判定方法

選手を 3~4 名からなるブロックに分け、ブロック毎に与えられた馬 2 頭に騎乗し、その 2 鞍の合計得点により順位を決定する。ブロックの数はエントリーの数により変動し、最大 8 ブロックとする。

スプリング及びオータムの各大会の表彰はブロックに関係なく総合順位で表彰する。

(5) 順位の決定の細目

- ① 減点合計が少ない者を上位とする。
 - ② 減点合計が同点の場合は、各走行タイムの基準タイムとの差の絶対値合計の少ない者を上位とする。
 - ③ ①②で決まらない場合は、減点 0 の多い者を上位とする。
 - ④ 以上で決まらない場合は、抽選とする。
- (6) 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナル 出場権
- 各ブロックの上位 1 名が全日本社会人馬術選手権大会 ファイナルへの出場権を得る。ブロック数が 8 ブロックに満たない場合、総合順位の上位の選手から順に出場権を割り当て、スプリング・オータム共に 8 名の選手が出場権を得るものとする。
- ブロック 1 位の選手が欠場となった場合、同一ブロック 2 位の選手を繰り上げる。同一ブロック 2 位の選手も欠場の場合、それ以上の繰上げは行わず、総合順位の上位者を充てることとする。

4. 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナルについて

- (1) 出場人数
16 名
- スプリング、オータム各ブロック上位選手 計 16 名
- (2) 競技種目
障害飛越競技 (高さ 110cm まで)
- (3) 馬匹
日本社会人団体馬術連盟が用意する貸与馬。
- (4) その他
詳細については別途通知する。

5. その他

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。また何らかの傷害保険に加入していること。
- (2) **出場選手の技術の向上、事故防止に心がけること。**危険防止の観点から、主催者及び審判団の協議に基づき改善を指導する場合がある。
- (3) 拍車は、丸又は棒拍とし、審判長の指示により着用を認めない場合がある。
- (4) 出場者数及び馬匹その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合がある(競技の詳細などについては、当日の打合わせにおいて説明する)。
- (5) 準備運動場における飛越回数オーバーは失権、逆標旗飛越はその都度罰金 3 万円を課す。